

独立行政法人日本スポーツ振興センター契約監視委員会議事概要

開催日及び場所	平成26年1月23日(木) 独立行政法人日本スポーツ振興センター 第二特別会議室	
委員	委員長 清水 幹裕(弁護士) 委員 青山 伸一(公認会計士) 委員 浜畑 和文(監事)	
審議対象期間	平成25年4月1日～平成25年12月31日	
審議案件(合計)	33件	(備考)
役務(小計)	21件	契約案件98件から33件を抽出し、審議を行った。 抽出案件について説明を行い、各委員の質問等への回答を行った。
競争性のない随意契約	3件	
一者応札・一者応募	6件	
複数者応札	12件	
工事(小計)	12件	
競争性のない随意契約	2件	
一者応札・一者応募	4件	
複数者応札	6件	
委員からの意見・質問、それに対する回答等	意見・質問	回 答
	別添のとおり	別添のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし	

委員からの意見・質問、それに対する回答

意見	回答
一者応札・一者応募（役務）	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 仮設事務所の賃貸借が一者応札となつてしまったのは何故か。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 業者への聞き取りを行ったところ、日程的に厳しいとの回答であった。
複数者応札（役務）	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 広報・PR活動サポート業務委託の落札率が100%になったのは何故か。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本件は企画競争（随意契約）で業者を選定している。公募の時点で予算額を示しており、本件は上限額での契約となっている。
一者応札・一者応募（工事）	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設整備工事が一者応札となつてしまった原因は何か。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 業者への聞き取りを行ったところ、技術者の配置ができないとの回答であった。 ・ 参加資格に施工実績を求めているが、今後は案件により、実績及び等級の緩和等の工夫を行いたい。
審議結果	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 企画競争案件については内容を精査し、総合評価を行うことができる案件については、総合評価に移行するよう努めること。 	